

平成 29 年度 事業結果報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

事業名	実施事項	実施内容
1 調査企画事業	情報の収集及び分析	○ 海域レジャー及び海域レジャー関連イベント等に関する一般的情報を収集した。
	専門部会活動の推進	○ 各地域総会等へ出席し、安全対策等について提言した。 ○ SDO認証制度についてOMS B活性化委員会を開催した。
	OMS B ホームページの内容充実	○ 安全対策だけでなく、サービス面の苦情に関する注意書きを掲載するなど利用者への情報提供の内容を充実させた。 ○ SDO認証制度のホームページをリンクさせた。
2 受託事業	水難救助員及びガイドダイバー等講習事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」第20条に規定する水難救助員及びガイドダイバー等に対する講習を公安委員会の委託を受けて実施した。 《講習内容：平成29年度》 (1) 水難事故発生の現状と対策 (2) 不当要求への対応方法について (3) 一次救命措置（心肺蘇生法、AEDの使用） ○ 開催期日、場所、受講業者及び受講者数 ・ 10月10日 石垣島地区 30業者 45名 ・ 10月11日 西表島地区 34業者 70名 ・ 10月12日 宮古島地区 22業者 43名 ・ 2月23日 沖縄本島地区 57業者 120名 合計 143業者 278名
	優良事業所審査事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」第25条の規定に基づく安全対策優良海域レジャー提供業者指定に係る「安全対策基準の審査」を公安委員会の委託を受けて実施した。 各団体等へマル優業者の活用及び安全対策優良業者ステッカーの掲示を推奨した。 《審査実績：平成29年度》 件数 110件
	海域調査事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」規定する海域調査委託を受けて実施した。 ・ 調査場所：古座間味ビーチ（座間味村） ・ 調査データを基に作成した「海域調査マップ」を海域レジャー提供業者、官公庁等に配付した。 ○ サンゴ食害生物海域調査業務をNPO法人コーラル沖縄からの委託を受け調査実施した。 ・ 調査場所：大度海岸海域
3 広報啓発事業	広報啓発活動	○ OMS Bニュース（第149号～158号）を発行し水難事故防止広報や、注意喚起の広報啓発活動を行った。
	効果的な広報活動	○ 全日本トライアスロン宮古島大会で、理事長杯を贈呈する等して水難事故防止を広報した。 ○ ホームページに水難事故の発生状況等を掲載して広報を行った。

平成 29 年度 事業結果報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

事業名	実施事項	実施内容
4 安全対策事業	海域等利用者に対する安全対策情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県及び関係機関・団体と連携して安全対策情報を提供した。 ○ 那覇地区水難事故防止出発式にて心肺蘇生法の実技を実施した。
	海域レジャー提供業者に対する安全対策情報の提供	○ 各地区で開催された水難事故防止推進協議会にシュノーケリング中の事故防止等の安全対策情報を提供した。
	シュノーケリングインストラクター等認定事業の実施	○ OMSB 認定のシュノーケリングインストラクター講習を実施し、シュノーケリングインストラクターを 5 名認定した。
	安全対策優良業者指定制度の普及、推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各団体等へマル優業者の活用を推奨した。 ○ マル優業者に対し安全対策優良業者ステッカーの掲示を推奨した。
5 健全育成活動事業	シュノーケリング安全マニュアル、マル優ステッカーの販売	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海域レジャー提供業者等に「シュノーケリング 安全マニュアル」を販売した。 ○ マル優業者に「安全対策優良業者ステッカー」を販売した
	沖縄県産業振興公社受託	○ ガイドダイバー向け研修会を全県各地区で開催した。 沖縄本島（本部・恩納村・宜野湾・北谷・那覇）、宮古、石垣、西表、座間味、 参加者数 延べ 1059名
6 収益事業の実施	ホームページバナー広告	○ 新規申込み無し。
	水難救助員認定講習事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水難救助員を新たに146名認定した。 (うち事務局での認定数は、91名) ○ 水難救助員の更新は62名